

伊集院保健所感染症情報

2024年第15週（令和6年4月8日～令和6年4月14日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症 季節の変わり目は、体調管理に注意しましょう！！

定点医療機関【インフルエンザ5，小児科3，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第12週	第13週	第14週	第15週	先週からの増減	第14週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	13.40	11.00	3.40	2.00	↘	5.32	↘
COVID-19	-	-	-	8.20	7.40	4.40	4.20	↘	3.40	↘
咽頭結膜熱	3	1	-	0.67	1.67	2.33	1.67	↘	2.52	↘
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-	4.00	3.67	1.00	3.67	↗	2.74	↘
感染性胃腸炎	20	12	-	2.67	3.33	2.00	4.33	↗	4.74	↘
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.12	↘
手足口病	5	2	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.60	↘
伝染性紅斑	2	1	-	0.33	0.00	0.00	0.00	→	0.02	↗
突発性発しん	-	-	-	0.00	0.00	0.33	0.00	↘	0.26	↘
ヘルパンギーナ	6	2	-	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.12	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.10	↗
R S ウイルス感染症	-	-	-	0.00	0.00	0.33	0.00	↘	0.60	↗
基幹定点からの届出状況			該当なし							
インフルエンザ入院サーベイランス			該当なし							
COVID-19入院サーベイランス			該当なし							
全数報告（カッコ内は本年の累積数）			該当なし							
※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし										

● TOPIC 今年初めて重症熱性血小板減少症候群(SFTS)患者が確認されました。

県内で今年1例目及び2例目の重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の患者発生の届け出が、医療機関から鹿屋、川薩保健所がありました。

【感染経路・症状】

ウイルスを有するマダニに刺されることにより感染します。多くの場合、マダニに刺されて SFTS ウイルスに感染すると考えられますが、マダニに刺された痕が見当たらない患者さんもいます。

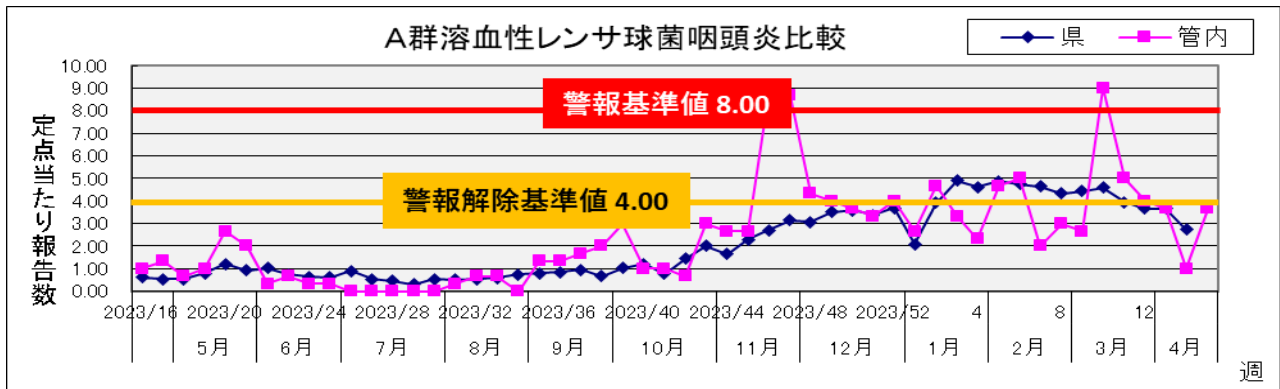
症状は、発熱、消化器症状（食欲不振、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛）が出現します。

【予防対策】

マダニに咬まれないように、山林、草むら、藪などに入る場合は、長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴を着用し、肌の露出を少なくするようにしましょう。もし、吸血中のマダニに気付いたら無理に引き抜かないで、医療機関で処置してもらいましょう。

● 注意すべき感染症

● A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



今週の伊集院保健所管内におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数が上昇してきています。

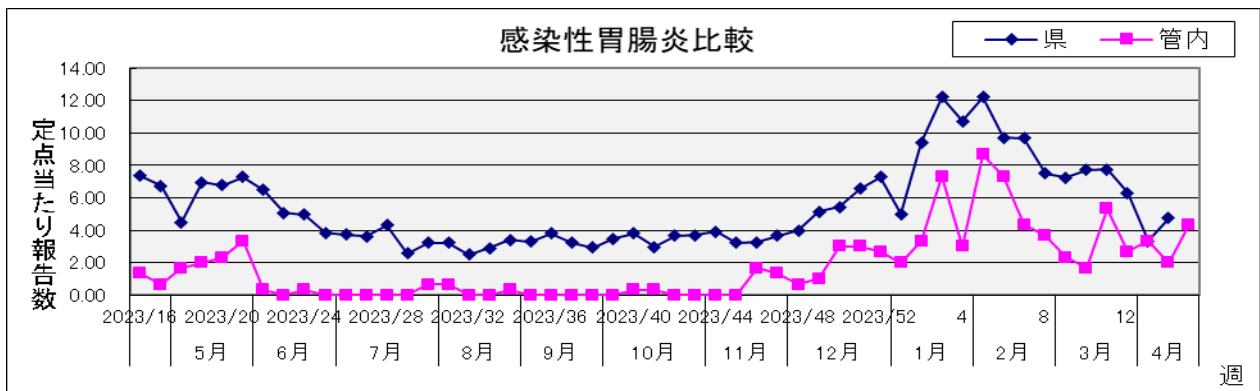
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、前週の3人(定点当たり1.00)から8人多い11人(3.67)でした。年齢別では、5歳(4人)、2歳・3歳・6歳(各2人)、4歳(1人)の順に多い報告でした。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎はいずれの年齢でも起こり得ますが、学童期の小児に最も多いです。

症状としては、突然の発熱と全身倦怠感、咽頭痛によって発症し、しばしば嘔吐を伴います。また、咽頭壁は浮腫状で扁桃は浸出を伴い、軟口蓋の小点状出血あるいは莓舌がみられることがあります。

予防としては、患者との濃厚接触をさけることが最も重要であり、うがい、手洗いなどを入念に行うことです。

● 感染性胃腸炎



今週の伊集院保健所管内における感染性胃腸炎の報告数は、前週の6人(定点当たり2.00)から7人多い13人(4.33)でした。年齢別では、20歳以上(7人)、1歳(2人)、11ヶ月・5歳・10~14歳・15~19歳(各1人)の順に多い報告でした。

感染を広げないようにするには、石けんを泡立てて流水で手洗いを行い、次亜塩素酸ナトリウムを用いた嘔吐物や下痢便等の適切な処理をすることが重要です。

○学校における感染症による出席停止の状況4/8~4/14 (出典：学校等欠席者・感染症情報システム)

今週はインフルエンザによる出席停止が14人、COVID-19による出席停止が6人でした。

また、水痘が1名、流行性耳下腺炎が1名報告されています。

自治体名 \ 疾患名	インフルエンザ	水痘(みずぼうそう)	流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	新型コロナ感染症
日置市	6	0	0	4
いちき串木野市	1	1	1	2
三島村	0	0	0	0
十島村	7	0	0	0
計	14	1	1	6